



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 東洋製罐グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5901 U R L <https://www.tskg-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 琢司
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 木本 要 T E L 03-4514-2019
 配当支払開始予定日 一
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	721,526	3.3	41,002	33.8	46,625	32.9	48,322	91.4
2025年3月期第3四半期	698,683	△2.1	30,651	13.3	35,071	9.9	25,241	4.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 41,603百万円 (20.2%) 2025年3月期第3四半期 34,619百万円 (△30.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	316.66	—
	149.08	—

(注) 第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2026年3月期	1,201,047	693,971	55.4
2025年3月期	1,202,930	694,915	55.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 665,594百万円 2025年3月期 667,064百万円

(注) 第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	46.00	91.00
2026年3月期 (予想)	—	57.00	—	57.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	960,000	4.1	45,000	31.3	48,000	27.6	49,000	117.9
								322.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 広州南沙斯多里機械有限公司、除外 一社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料 P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧下さい。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	153,162,162株	2025年3月期	163,162,162株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	2,790,478株	2025年3月期	4,062,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	152,603,155株	2025年3月期 3Q	169,322,924株

(注) 当社は役員向け株式交付信託制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式（467,000株）を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 4 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調が継続しました。一方、先行きは、不安定な国際情勢、物価の上昇や金融市場の変動などにより、不透明な状況にあります。

このような環境下におきまして、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	698,683	721,526	22,842	3.3%
営業利益	30,651	41,002	10,350	33.8%
売上高営業利益率	4.4%	5.7%	1.3%	—
経常利益	35,071	46,625	11,554	32.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,241	48,322	23,080	91.4%

売上高は、包装容器事業で販売数量が減少したものの、価格改定を実施したほか、前年同期に低迷していた海外エンジニアリング事業が回復に転じたこと、マレーシアにおいてホームケア製品およびパーソナルケア製品の充填事業を営むPREMIER CENTRE GROUP SDN. BHD. を連結したことにより、7,215億26百万円（前年同期比3.3%増）となりました。営業利益は、410億2百万円（前年同期比33.8%増）となり前年同期を大幅に上回りました。これは、価格改定を実施したことにより加え、前年同期にエンジニアリング事業において一過性の貸倒引当金繰入額を多額計上する事案が発生したものの、当第3四半期連結累計期間にはこのような事案の発生がなかったことによります。経常利益は、466億25百万円（前年同期比32.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したほか、投資有価証券売却益を計上したことなどにより、483億22百万円（前年同期比91.4%増）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメント等	売上高（外部顧客）				営業利益			
	前第3四半期	当第3四半期	増減	増減率	前第3四半期	当第3四半期	増減	増減率
包装容器事業	457,985	459,267	1,282	0.3%	21,559	23,769	2,210	10.3%
エンジニアリング・充填・物流事業	108,922	125,557	16,634	15.3%	△4,782	831	5,613	—
鋼板関連事業	69,444	69,116	△327	△0.5%	7,107	6,874	△233	△3.3%
機能材料関連事業	38,746	43,023	4,277	11.0%	4,578	5,353	774	16.9%
不動産関連事業	6,062	6,263	200	3.3%	3,414	3,793	379	11.1%
その他	17,522	18,297	775	4.4%	817	1,623	805	98.5%
調整額	—	—	—	—	△2,042	△1,242	800	—
合計	698,683	721,526	22,842	3.3%	30,651	41,002	10,350	33.8%

〔包装容器事業〕

売上高は4,592億67百万円（前年同期比0.3%増）となり、営業利益は237億69百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

①金属製品の製造販売

国内・海外において価格改定を実施したものの、国内においてアルコール飲料向けの空缶および缶蓋の販売数量が減少したことなどにより、売上高は前年同期を下回りました。

②プラスチック製品の製造販売

飲料用小型PETボトルおよびプリフォームの販売が減少したものの、価格改定を実施したほか、飲料用樹脂カップやオーラルケア向けのボトルなどが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③紙製品の製造販売

飲料向けの段ボール製品が減少したものの、価格改定を実施したほか、コンビニエンスストア向けの弁当容器やファストフード向けなどの飲料カップが増加したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。

④ガラス製品の製造販売

価格改定を実施したほか、ウイスキーやジン向けのびん製品が増加しましたが、清涼飲料向けのびん製品や、飲食店向けでジョッキなどのハウスウェア製品が減少したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。

〔エンジニアリング・充填・物流事業〕

売上高は1,255億57百万円（前年同期比15.3%増）となり、営業利益は8億31百万円（前年同期は47億82百万円の営業損失）となりました。

①エンジニアリング事業

既存顧客において設備投資の抑制が継続しているものの、新規顧客への製缶・製蓋機械の販売が増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

②充填事業

マレーシアにおいてホームケア製品およびパーソナルケア製品の充填事業を営むPREMIER CENTRE GROUP SDN. BHD. を連結したほか、タイにおいて飲料の充填品が増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

③物流事業

貨物自動車運送業および倉庫業などの売上高は、前年同期を上回りました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は691億16百万円（前年同期比0.5%減）となり、営業利益は68億74百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

電気・電子部品向けでは、車載用二次電池材が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

缶用材料では、食缶向けの輸出が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

自動車・産業機械部品向けでは、駆動系部品材が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

建築・家電向けでは、ユニットバス向け内装材が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

〔機能材料関連事業〕

売上高は430億23百万円（前年同期比11.0%増）となり、営業利益は53億53百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、データセンター向けのハードディスク用途で市況が回復したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

光学用機能フィルムでは、フラットパネルディスプレイの市況悪化の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

ほうろう製品向けの釉薬や顔料などのその他の機能材料の売上高は、前年同期並みとなりました。

〔不動産関連事業〕

オフィスビルおよび商業施設等の賃貸につきましては、売上高は62億63百万円（前年同期比3.3%増）となり、営業利益は37億93百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

〔その他〕

自動車用プレス金型・機械器具・硬質合金および農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売および損害保険代理業などにつきましては、売上高は182億97百万円（前年同期比4.4%増）となり、営業利益は16億23百万円（前年同期比98.5%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における連結子会社の増減は、次のとおりです。

- ・増加（1社）

広州南沙斯多里機械有限公司

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債および純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1兆2,010億47百万円となりました。現金及び預金や投資有価証券の減少などにより前連結会計年度末に比べ18億82百万円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、5,070億76百万円となりました。借入金の減少などにより前連結会計年度末に比べ9億38百万円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、6,939億71百万円となりました。円高影響による為替換算調整勘定の減少、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより前連結会計年度末に比べ9億44百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.5%から55.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期の業績予想につきまして、次のとおり修正いたします。

売上高、営業利益、経常利益は、前回予想通りに推移する見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式売却益を特別利益として追加計上したことから、前回予想を上回る見込みです。

なお、2026年3月期における期末配当金につきましては、当初予定と変更ございません。

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	連結売上高 百万円	連結営業利益 百万円	連結経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	960,000	45,000	48,000	46,000	302.54
今回修正予想（B）	960,000	45,000	48,000	49,000	322.27
増減額（B-A）	0	0	0	3,000	
増減率（%）	0	0	0	6.5	
（ご参考）前期実績 (2025年3月期)	922,516	34,264	37,626	22,486	134.60

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,839	101,865
受取手形、売掛金及び契約資産	222,187	236,366
電子記録債権	29,311	38,902
商品及び製品	121,381	122,274
仕掛品	23,083	24,741
原材料及び貯蔵品	55,179	56,336
その他	26,134	28,625
貸倒引当金	△2,790	△2,964
流動資産合計	594,327	606,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	111,385	108,780
機械装置及び運搬具（純額）	128,963	122,065
土地	79,608	79,458
建設仮勘定	15,589	19,897
その他（純額）	15,943	17,349
有形固定資産合計	351,490	347,551
無形固定資産		
のれん	4,072	3,742
その他	24,163	20,485
無形固定資産合計	28,235	24,227
投資その他の資産		
投資有価証券	167,035	160,758
退職給付に係る資産	39,524	39,770
繰延税金資産	4,842	4,605
その他	20,962	21,751
貸倒引当金	△3,488	△3,765
投資その他の資産合計	228,876	223,120
固定資産合計	608,603	594,899
資産合計	1,202,930	1,201,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,973	108,744
短期借入金	75,872	106,605
未払法人税等	8,434	15,968
汚染負荷量賦課金引当金	99	93
その他	88,091	89,747
流動負債合計	282,472	321,159
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	130,420	86,604
練延税金負債	19,003	19,397
特別修繕引当金	6,997	7,950
汚染負荷量賦課金引当金	1,647	1,596
役員退職慰労引当金	1,117	1,293
役員株式給付引当金	324	386
退職給付に係る負債	34,443	36,235
その他	11,587	12,451
固定負債合計	225,542	185,917
負債合計	508,015	507,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	11,915	11,673
利益剰余金	516,892	521,568
自己株式	△9,351	△7,159
株主資本合計	530,551	537,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,650	64,854
練延ヘッジ損益	40	△128
為替換算調整勘定	49,804	43,013
退職給付に係る調整累計額	22,016	20,676
その他の包括利益累計額合計	136,513	128,416
非支配株主持分	27,851	28,376
純資産合計	694,915	693,971
負債純資産合計	1,202,930	1,201,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	698,683	721,526
売上原価	601,466	614,923
売上総利益	97,217	106,603
販売費及び一般管理費	66,566	65,601
営業利益	30,651	41,002
営業外収益		
受取利息	1,182	964
受取配当金	2,493	2,899
為替差益	2,187	2,242
持分法による投資利益	2,648	2,511
その他	2,833	3,701
営業外収益合計	11,345	12,319
営業外費用		
支払利息	3,102	2,813
固定資産除却損	481	1,108
その他	3,341	2,774
営業外費用合計	6,925	6,696
経常利益	35,071	46,625
特別利益		
投資有価証券売却益	209	17,156
固定資産売却益	403	2,726
特別利益合計	612	19,882
税金等調整前四半期純利益	35,684	66,508
法人税等	9,036	16,759
四半期純利益	26,648	49,748
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,406	1,426
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,241	48,322

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	26,648	49,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,352	318
繰延ヘッジ損益	△98	△169
為替換算調整勘定	3,306	△4,232
退職給付に係る調整額	△1,158	△1,346
持分法適用会社に対する持分相当額	569	△2,715
その他の包括利益合計	7,970	△8,145
四半期包括利益	34,619	41,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,424	40,226
非支配株主に係る四半期包括利益	2,194	1,376

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月28日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所における市場買付により当社普通株式8,830,800株を取得したことにより、自己株式が25,749百万円増加している。また、2024年11月29日開催の取締役会決議に基づき、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして91,560株の自己株式の処分を行ったことにより、自己株式が220百万円減少している。さらに、2025年10月6日付で自己株式10,000,000株の消却を実施し、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ27,701百万円減少している。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が521,568百万円、自己株式が7,159百万円となっている。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

1. 連結の範囲の重要な変更

中間連結会計期間より、新たに設立した広州南沙斯多里機械有限公司を連結の範囲に含めている。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はない。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	41,283百万円	40,589百万円
のれんの償却額	101	311

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2024年8月2日（みなし取得日2024年6月30日）に行われたPREMIER CENTRE GROUP SDN. BHD.との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていたが、第1四半期連結会計期間に確定している。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されている。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額7,956百万円は、会計処理の確定により3,824百万円減少し、4,131百万円となっている。のれんの減少は、無形固定資産のその他（顧客関連資産等）が3,986百万円、土地が1,045百万円、繰延税金負債が1,207百万円それぞれ増加したことによるものである。

また、前連結会計年度末の連結貸借対照表は、のれんが3,769百万円減少し、無形固定資産のその他（顧客関連資産等）が4,000百万円、土地が1,084百万円、繰延税金負債が1,220百万円、利益剰余金が91百万円、為替換算調整勘定が3百万円それぞれ増加している。前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、販売費及び一般管理費が29百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ29百万円増加し、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ44百万円増加している。

のれんの償却期間は10年、無形固定資産のその他（顧客関連資産等）の償却期間は10年から17年としている。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	457,985	108,922	69,444	38,746	6,062	681,161	17,522	698,683	—	698,683
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,123	37,696	16,739	58	1,188	59,805	5,204	65,009	△65,009	—
計	462,109	146,618	86,183	38,804	7,250	740,967	22,726	763,693	△65,009	698,683
セグメント利益又は損失 (△)	21,559	△4,782	7,107	4,578	3,414	31,876	817	32,694	△2,042	30,651

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,042百万円には、セグメント間取引消去10,070百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△12,113百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。
4. 第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させている。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	459,267	125,557	69,116	43,023	6,263	703,229	18,297	721,526	—	721,526
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,604	37,326	17,242	44	1,190	59,408	5,382	64,791	△64,791	—
計	462,872	162,884	86,358	43,068	7,454	762,637	23,680	786,317	△64,791	721,526
セグメント利益	23,769	831	6,874	5,353	3,793	40,621	1,623	42,245	△1,242	41,002

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△1,242百万円には、セグメント間取引消去10,518百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,761百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。